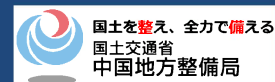


千代川水害タイムライン検討会・天神川水害タイムライン 検討会の合同発足式を開催しました



鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所

令和元年8月7日（水）に、千代川流域、天神川流域における防災関係機関等が連携し、事前の行動計画を検討する「千代川水害タイムライン検討会」、「天神川水害タイムライン検討会」の発足式を合同で開催しました。

当日は、鳥取県庁の第二庁舎に行政機関、公共交通事業者、ライフライン事業者、報道関係者など各検討会の構成機関から59名が出席しました。

発足式では、鳥取市長（代理）、倉吉市長、三朝町長、湯梨浜町長、北栄町長（代理）のご挨拶、座長の鳥取大学大学院 三輪教授から「多機関連携型タイムラインの必要性について」と題しての、ご講演をいただきました。今後、各河川で水害タイムラインを検討し、来年からの運用開始を目指して策定する予定です。



出席者集合写真



発足式の様子



鳥取大学大学院
三輪 浩 教授

住民の「逃げ遅れゼロ」を達成するために、各関係機関の果たす役割の実効性を高め、判断・行動につなげることが重要です。今回の検討会にお集まりのみなさまと何ができるかを考え、検討会のメンバーで協力して、千代川水系、天神川水系で「多機関連携型タイムライン」を作成しましょう。



講演の様子